



会場を圧倒した集団演技！！



学年通信16号に引き続き、体育大会の様子をお伝えします。

3年生にとって最後の体育大会でしたが、何といても3年生と言えば「集団演技」です。みんなはこれを創り上げるまでに、たくさん悩み、苦労したと思います。学校での練習できる時間も限られ、それでは補えない部分もたくさんあったことでしょう。学年練習では、立ち位置や配置転換の確認に重点をおき取り組んでいたのも、ダンスの練習ができたのもその後でした。ですが、そのダンスをしている様子を見ると、ほとんどの生徒がしっかりと踊ることができていました。みんなお家や放課後の自主練習などを通じて、見えないところで努力をしていたんだなと感じました。この40期生の良いところは、「限界を決めずに、ギリギリまでこだわってやり切る」ところだと思います。序盤の学年練習で踊っていたダンスでも、一人ひとりがしっかりと踊っていてすごかったです。ですが、さらにみんなで創り上げるものだからこそ、放課後に複数人でダンスの動きを合わせる練習をしたり、ダンスが得意な子が苦手な子に教えてあげたりというような場面が見られました。また学年練習の中でも、ダンス委員を中心としみんなが声を掛け合い、アドバイスをしていました。一人ひとりが自分の事だけでなく、互いに助け合ってこの体育大会まで練習を続けてきました。当日は、学年練習や予行で披露してきたダンスからさらにレベルアップした「みんなで創り上げたダンス」を見ることができました。その姿に会場の生徒に加え、保護者の方々や来賓の方々までもが感銘を受けたことだと思います。それほど会場を圧倒したようなパフォーマンスでした。最後のダンスを踊り終えた後のみんなの顔を見てみると、汗が流れる中、「やり切った」や「楽しかった」、というような感情が読み取れるぐらい「最高の笑顔！！」が一面に広がっていました。中には、泣いている人もいて、それほどみんなが一丸となって熱中して頑張っていたんだなと感じました。

最後の体育大会を終え、みんなにとってこの体育大会はどんなものになりましたか？楽しかったと思うその先にみんなはどんなことを感じ、思ったのでしょうか。体育大会の意義は、もちろん優勝を目指すということもあるでしょう。ですが、先生たちはそうは思っていません。そのことよりも大切なことは、一人ひとりが自分自身の力を出し切って自分のために学級のために全力を尽くすこと、そして学級や学年がひとつになって全員で体育大会というドラマを創り上げることにあります。どの団も全力を尽くし、見ている人を感動させる素晴らしい応援ぶりや戦いぶりを見せてくれました。特に集団演技は、この体育大会の思い出の中で一番を占めるのではないのでしょうか。

次は、最後の文化祭が待っています。文化祭も一人ひとりが一生懸命取り組み、また違った素晴らしいものを見せてくれることを期待しています。8

08

1組

2組

40期生(150カラット)

3組

4組